

授業科目名	看護研究	担当教員	◎川上 裕子、足立 智孝、 榎本 輝樹、有家 香	科目ナンバリング
必修	開講年次：3年前期	単位：2単位	授業形態：講義30時間	NM389

【授業概要】

研究に関する基礎的知識を学び従来の量的看護研究のパラダイムだけに限定せず、質的研究のパラダイムや手法についても理解し、研究課題にマッチした研究デザインやデータ処理法の必要性を理解する。また、文献検索の手法や研究の批判的吟味の方法と看護に関連したエビデンスを探すプロセスを学ぶ。

【達成目標】

学生が発表された研究の批判者・利用者であり、将来自ら看護の知識に寄与しうるための研究手法や過程について学び、エビデンスにもとづいた看護実践に結びつける能力を培うために：

1. 看護研究の目的と重要性を論議する。
2. 研究プロセスの概要について説明できる。
3. 看護研究における倫理的問題とその対応について説明できる。
4. 文献検索データベースを用いた文献検索の方法を理解し実践できる。
5. 研究テーマを科学的に探研するために研究デザインについて説明できる。
6. 文献クリティークの必要性と方法を理解し、実践できる。
7. 研究計画書を作成する目的と内容を説明できる。

【履修条件】

特になし

看護研究の学は4年次の研究ゼミナールⅠ・Ⅱの基礎となる。

【授業計画】

[01] 看護研究とは	看護における研究の活用	(川上)
[02] 研究のプロセス		(川上)
[03] 研究における倫理		(足立)
[04] 研究方法		(川上)
[05] 量的研究		(榎本)
[06] 量的研究		(榎本)
[07] 質的研究		(有家)
[08] 質的研究		(有家)
[09] 演習：文献検索と文献の整理		(有家)
[10] 演習：文献検索と文献の整理		(有家)
[11] 文献クリティークとは		(川上)
[12] 演習：文献クリティーク		(川上・榎本・有家)
[13] 演習：文献クリティーク		(川上・榎本・有家)
[14] 演習：文献クリティーク		(川上・榎本・有家)
[15] 研究計画書の作成方法	研究成果のまとめ方と伝え方	(川上)

【教科書】

坂下玲子・宮芝智子・小野博史(2023)：系統看護学講座別巻 看護研究(第2版)，医学書院。

【参考書】

1. 大木秀一(2013)：文献レビューのきほん－看護研究・看護実践の質を高める，医歯薬出版。
2. 牧本清子・山川みやえ(2020)：よくわかる看護研究論文のクリティーク(第2版)，日本看護協会出版会。

【評価方法・評価基準】

授業内課題：60%、課題レポート：40%

【講義のために必要な事前・事後学習】

事前学習：教科書の該当箇所を事前に学習しておく。(2時間)

事後学習：授業で提示された課題や課題レポートについて、授業内容を参考にして記述し、まとめる。(2時間)

【教育目標(必須要素)との関連】

この科目は、教育目標の必須要素Ⅲ. 根拠に基づいた看護実践能力、Ⅳ. テクノロジーを効果的に活用する能力、Ⅷ. 生涯にわたり継続して専門性を向上させる能力と関連する。

【試験や課題レポート等に関するフィードバック】

授業内課題、課題レポートについては傾向をまとめて全体にフィードバックする。

【備考】

看護研究の学は4年次の研究ゼミナールⅠ・Ⅱの基礎となる。